中部 NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報

第334号
令和6年3月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470－0328 豊田市勘八町勘八27－56
TEL 0565－42－1101 FAX 0565－42－1103
E-mail: chubutc@oisca.org　http: //www.oisca.org/

第12回フォレスターズスクール開催

2月3日、フォレスターズスクールがセンターを会場に開催されました。高校生・大学生・専門学校生など16名が参加しました。本事業は、中部電力と共催(豊田市後援)で実施され、今回で12回目を迎えます。我が国は国土の約70％が森林でありますが、私たちの生活から木を活かして使う文化がなくなりつつあり、森林の荒廃も深刻な状況です。

本講座では、指導林家の後藤斎先生による「森林の機能・間伐の必要性」について講義をいただき、間伐材の活用に取り組むオイスカ山梨県支部の取り組みと中部電力の環境保全活動が紹介されました。間伐体験は3グループに分かれて、中電フォレスター様のご指導いただき、安全に体験活動ができました。最後に、榊(竹中眞会員・碧南高浜推協から寄贈いただきました)の苗木を記念に植樹しました。本講座に参加いただいたことで、森林への関心と感謝の意識を高めていただき、保全活動への参加いただく契機となることを願います。

小杉裕一郎

サカキを植樹しました。

チェーンソー体験

コラム
「忘れてはいけないこと」

法人・個人会員の皆様、日頃よりオイスカへの御支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

「とよたオイスカ山守の会」という間伐ボランティアのグループがございます。豊田市とオイスカが共同で森林保全研修を実施しており、その参加者が有志で立ち上げた会です。現在二代目会長の市脇公平さんが会を率いて、山の保全活動に携わっておられます。この会を立ち上げたのが、初代会長の河野富夫さん。河野さんは、長年オイスカ会員としてご支援をいただき、愛知県支部の事務所が名古屋にある時代からボランティアとしてオイスカ活動を支えてくださった方です。会社を退職後は「山守の会」を率いて、市内の様々な森に入り、間伐作業をしてこられました。河野さんの温和で優しいお人柄に誘われて、多くのボランティアが集まり、危険を伴う活動ながら、常に笑いの絶えないグループになっていきました。そんな河野さんが亡くなられたときに、当時の所長とお線香をあげにお参りをさせていただいたのですが、それから10年以上の月日が経ちました。

そんな折、奥様からお電話をいただきました。「主人が持っていた山林をオイスカに寄贈したい」そこで、10年ぶりに奥様にお会いしたのですが、玄関にはオイスカの会員章が当時のまま貼ってありました。お仏壇の横には、河野さんの笑顔の写真と共に、「山守の会」が河野さんに贈ったお地蔵さんの木の彫り物が飾ってありました。奥様にお会いして驚いたことは、奥様が10年以上たってもオイスカを忘れておられなかったということです。河野さんがオイスカをライフワークにして活動していたことを奥様は忘れていませんでした

翻って、自分は忙しさを言い訳に河野さんを忘れていなかったか。オイスカは「事業体」である前に、「運動体」であると教えられ、その核心になるのは会員お一人お一人であると教えられてきました。会員様なくしてオイスカの活動(運動)はありえないのです。

物質的な見返りのない会員様の支えで、今日のセンターがあるわけですが、その会員様お一人お一人の尊い働きを忘れていないだろうか。感謝を忘れていないだろうか。

奥様にお会いしたことで、そのことが強烈に脳裏をよぎり、改めてオイスカで活動をしていく上で、一番大切なことを思い出させていただきました。

目の前にいる入国してきたばかりの研修生たちを見ながら、想いを新たにしております。

小杉　裕一郎

オイスカ友の会「愛と絆」講演会

恒例のオイスカ友の会「愛と絆の集い」が、本年は二つの催しを連動する形で開催されました。昨年12月にウズベキスタンのアラル海の砂漠化防止活動の実践報告を、長年にわたりボルネオ島（マレーシア）の貧村の笑顔を守るため支援を続けられる岡崎市の杉浦さん親子の活動報告を頂きました。

そして第二弾は東名ライオンズクラブの後援を頂き、去る1月26日今なお戦禍にあるウクライナからの避難生を受け入れ支援する、浜松市のオイスカ開発教育専門学校から4人（女性）の学生を当地末野原中学校に招き1年生200余名との交流会を開催致しました。

映像によるウクライナ紹介から始まり、「日本の印象は?」「好きな食べ物は?」等、生徒からの多様な質問に見事に応える来日1年余の彼女たちの日本語は素晴らしいものでした。最後に、4名の避難生と200名の生徒が豊田市とウクライナの共通の花であるヒマワリの折り紙に書き込んだ平和への実直な願いは、若者達にとって、またこのすさんだ社会にとって必ず生きることと確信致しました。正にみんなが願えば平和は掴める！との実感でした。折りしも今なお、劣悪な状況下で生活される被災地の人々、また今も戦時下にある人々の苦難を思う時、今こそ人は優しくなる時そしてなれる時と感ずる本年の「愛と絆の集い」でした。

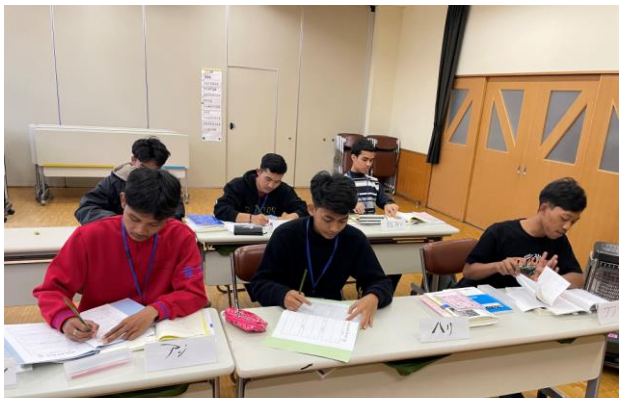
佐藤　鋹弘（筆）

技能実習生多数入国！！

1月24日（水）マレーシアより秋田ダイハツの技能生2名、豊田市の自動車整備会社、ワイルドグースの技能生1名が入国しました。また、2月5日（月）にインドネシアより福岡県の建設会社に配属される7名が入国。フィリピンより三重県鈴鹿市にある工業化成の技能生2名が入国いたしました。総勢12名で日本語を勉強しております。

皆、日本の寒さに負けないぐらい元気に研修に励んでいます！！これからお世話になる会社の皆様、ご指導の程よろしくお願いいたします。

中村　仁美（筆）



日本語研修中

マレーシア高校生グローバルリーダーシッププログラム復活！！！

2月20日から28日までの8日間、新型コロナ以来止まっていた交流プログラムが行われました。13名の元気な高校生が、先生に引率されて来日し、まだまだ寒い中ではありましたが大変熱いプログラムが展開されました。戦後から現代の日本史講義から始まり、書道、茶道、浴衣体験と高度なスキルを持つオイスカの会員の方々にお世話になりました。渡刈クリーンセンターで豊田市のごみ処理の仕方、分別の大切さを学び、益富中学校では濃い文化交流ができました。ハイライトはやはりホームステイ。2泊3日で心が通い合い、お別れがつらかったです。

センターの研修生も日本での先輩として弟妹をかわいがってくれました。心の通う交流、ぜひ続けていきたいものです。オイスカ会員の皆様、ホストファミリーの方々、ご協力ありがとうございました。15名のマレーシア団、心にたくさんのお土産を詰めて、名残惜しそうに笑顔で帰国しましたことをご報告させていただきます。最終日まで、安全運転でマイクロバスを運転して下さった中山さんに感謝申し上げます。最後に付け加えますが、今回の高校生全員、みそ汁好きになって帰国しました 笑！

宗像　ジュイエ（筆）

益富中学校でダンス披露

最終日清水寺

名取海岸林再生プロジェクト研修参加

2 月 10 日にオイスカ海岸林再生プロジェクトの間伐に参加しました。面積は 1,100h で、そのうち 100h はオイスカが管理しています。オイスカ名取市ボランティアと一緒に間伐をしました。500 本くらい木を切りました。大変でしたが、楽しかったです。海岸林再生プロジェクトは大変きれいでした。キジも見ました。間伐作業が終わってから焼き肉を食べ、勉強をしました。

切った木はウッドチップで発電に利用したり、堆肥として利用します。

シャン・バボ・ジョイ参加（農業研修生シャン（筆））

マレーシア　研修生活動調査

1 月 20 日～30 日、オイスカ東京本部と国内 4 センターの研修担当者 6 名でマレーシアを訪問し、OBOG 研修生の活動調査を行って参りました。

クアラルンプールでは主に技能実習生 OB を訪問し、送り出し機関 MARA の施設見学や担当者、理事長と懇談致しました。その後ボルネオ島へ渡り、サバ州では農業研修生 OB 達のプロジェクトを訪問しました。アブラヤシやバナナの大規模農園を経営している者やオイスカテノム研修センターの職員をしながら、小規模に養豚を営んでいる者などがいました。

来日研修で学んだ事を活かして活躍する彼らの姿に励まされました。

会員の皆様もぜひ、マレーシア、テノムセンターをご訪問下さい。

OISCA Facebook のカバー写真は、我々とテノム研修生で撮ったものです（下の写真）　　筑田　明生（筆）

１・２月研修生の活動　グレゴリー（記）

ヒヨコです

トマトのたねまきです

キュウリとピーマンとナスのたねまき

ハウスの準備ロータリーです

トマトの接ぎ木です

更新会員名簿（745／874）

安城（81／80）三浦一光、丸中鍛工株式会社、川澄敏雄、安城市長
岡崎（23／29）小久井正秋、内田康宏、明保澄雄
尾張一宮（3／5）HARSONO
蒲郡（7／9）有限会社　香ノ木商事
刈谷（33／35）株式会社　勤労食、稲垣賢治、伊藤直樹、外山鉱一、若杉里子、株式会社　依佐美、株式会社　だるま、刈谷市役所
豊田（197／235）野中慎吾、自由民主党愛知第十一選挙区支部、永田岳志、豊田商工会議所、鈴木英之、神谷典之、藤井真寿美、オイスカ石野友の会、SK,s　合同会社
名古屋東（26／31）株式会社　リアル、株式会社　タカギスチール、株式会社　土地の果実、株式会社　エアーサプライ、Ebクリエイト　株式会社、サンスリー株式会社、株式会社　ヘイシン
名古屋北（29／31）長縄裕一、株式会社　テクノアンカー、森藤技研工業株式会社　春日井工場、神谷幸輔
名古屋西（21／27）大塚祥之、北野尚人、森川兵一、波田野浩史、廣瀬ちえ、竹内みどり、株式会社　GUNSHIコーポレーション
丹羽（52／62）株式会社　美乃寿司
西尾（28／33）株式会社　はと屋、株式会社　あいや、株式会社　クロト
碧南高浜（39／56）石井　拓、松井勝彦、禰宜田政信、碧南市議会議長、新美雅浩、丸八重整備　株式会社、榊原純一税理士事務所、碧南市役所、有限会社　井上建築設計室、丸共通運　株式会社、鳥居寛英、ベルウッド　株式会社、衣浦イ

更新会員名簿

ーテクト　株式会社、株式会社　クリーン商事、愛知県中央信用組合、吉岡初浩、武田税理士事務所、株式会社　丸三、日進工業　株式会社、碧南商工会議所、株式会社　長谷川設備工業、浅丘自動車整備　株式会社、旭鉄工　株式会社、株式会社　平岩鉄工所、黒龍産業株式会社、石橋建設興業　株式会社、鈴木勝彦
みよし（37／44）加藤伸尚
センター（33／40）髙山亜美、株式会社　藤恵、松本尚人
（一月末までの入金を掲載）

新入会（個人）

加藤伸尚（愛知郡東郷町）
加藤健（名古屋市）

新入会（法人）

守山商工会（名古屋市）
スズケングループ労働組合連合会（名古屋市）

寄付金

村上典子（江南市）
大野明美（東海市）
小柳津初男（静岡県袋井市）
吉見明博（三重県四日市市）
株式会社　For Nature（名古屋市）
中根勝美（岡崎市）
森田惣一（豊田市）
清水孝紀（豊田市）
吉村淳子（瀬戸市）
神野春光（名古屋市）
わたなべピアノ教室（三重県川越町）
明保澄雄（岡崎市）
服部俊美（豊田市）
株式会社　天狗堂（豊田市）
奥田工業　株式会社（豊田市）

寄付金

株式会社　淺野機械工業所（豊田市）
太啓建設　株式会社（豊田市）
大豊工業　株式会社（豊田市）
日本ガイシ　株式会社（名古屋市）
明興産業　株式会社（知多郡東浦町）
和合精機　株式会社（豊田市）
トヨタ紡織　株式会社（刈谷市）
西尾自動車学校（岡崎市）
日本ガスケット　株式会社（豊田市）
東豊工業　株式会社（豊田市）
株式会社　プラティ多治見（岐阜県多治見市）
河合秀（豊田市）
株式会社　ミクロ技研工業（豊田市）
豊田市教育自主研究グループ（音楽）（豊田市）
森藤左ヱ門（名古屋市）
林重喜（岡崎市）
鷲見三恵子（刈谷市）
藤岡商工会（豊田市）
CKD　株式会社（小牧市）
小杉ラスマリア（豊田市）
沢田美智子（名古屋市）
松本佳子（知多郡美浜町）
安成工業　株式会社（安城市）
株式会社　寿恵弘（豊田市）
坂元正弘（豊田市）
大嶋雅樹（豊田市）
松岡美江子（三重県桑名市）
井上典子（知立市）
株式会社　ハイパーブレイン（名古屋市）
株式会社　大喜荘（名古屋市）
株式会社　山田商会（名古屋市）
清水泰弘（名古屋市）
小林四郎（安城市）
小杉裕一郎（豊田市）
小杉櫻（豊田市）
小杉明日神（豊田市）
スターライフ　株式会社（みよし市）
神山忠憲（知立市）
服部俊美（豊田市）

寄付品

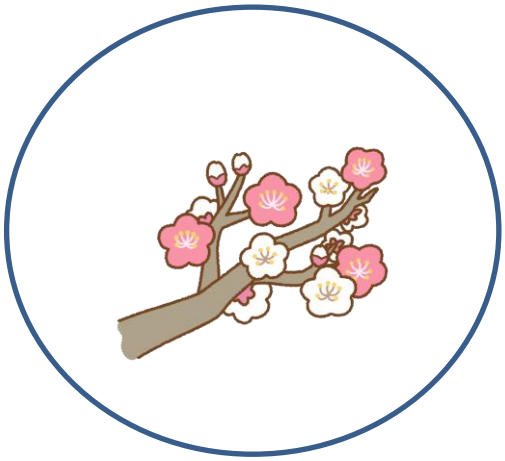
柴田奈々（豊田市）
株式会社　藤恵（幸田町）
中山純二（豊田市）
門池千尋（豊田市）
高木養鶏（豊田市）
竹中造園土木株式会社（碧南市）
堀池尊彦（豊田市）
神野重行（名古屋市）
光岡保之（豊田市）
日本モウルド工業　株式会社（安城市）

ベルマーク

柴田奈々（豊田市）

インクカーリッジ

中部プロボノセンター（名古屋市）

書き損じはがき

鈴木康子（豊田市）
堀池尊彦（豊田市）